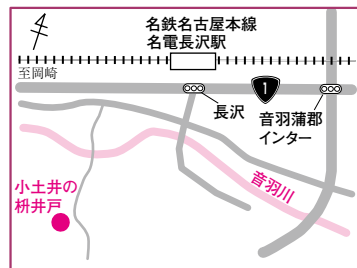




みつけた!



杣井戸の伝説



長沢町にある「小土井の杣井戸」は、国道1号を岡崎方面に向かい、東名高速道路の音羽蒲郡インターチェンジを越えたあたりを左折し、山中を進んだところにあります。近くには「霊水杣の井」と記された石柱があり、木の根元にある岩間の杣のようなくぼみに清水がたまり、そこから涼しげな音とともに流れ出ています。

この井戸には、聖徳太子にまつわる伝説が語り継がれています。昔、聖徳太子が馬でこの辺りを通りかかったときに、折からの暑さで喉が渇き水を望まれたそうです。家来が見つけた杣のような井戸の湧き水を口にした太子は、その清く冷たい水に感動して、太子自ら「小渡井杣井戸」と名づけられたそうです。この静かな山間に伝わる伝説を知らない方も多いのではないのでしょうか。

この水でお米を炊くとおいしいといわれ、水をくみに来る人が大勢います。周囲の山からの恵みを受けて流れる湧き水は、この地域の皆さんがたいせつに見守ってきたおかげで、現在も残っています。

